

第5期・第3回豊和村づくり協議会 議事録

2022年10月9日

9:30~11:00

豊和コミュニティーセンター

11:00~12:00

開畑地区

<報告事項>

1 夏休み「こども教室」について

*別紙参照

収支報告。

- ・収入：会費徴収 18,000 円。(会員登録制)
参加費はフルに預買った場合 9,000 円程度。参加日数に応じて徴収。
- ・支出：スタッフは有償。指導員は放課後教室の先生。
事務経費は、今まで無償で行っていたが、活動を回す上で必要な費用として、計上することにした。他、損害賠償責任保険、材料費、謝礼。
- ・不足金額：991,607 円は村づくり基金から拠出する。

2 ゼロカーボン匠瑤推進協議会について

○これまで4回開催。今年の2次申請には間に合わなかったが、来年2月の申請に向けて、市と連携して取組中。

・他報告事項なし。

<協議事項>

1 ソーラシェアリング収穫祭について

- 11月20日(日) チラシ参照
- 村づくり協議会は共催として参加・・・第1回協議会で確認済み
- 3年振りの開催ということもあり、規模を拡大しての実施。
- 若者を中心にした新たな実行委員会という新体制で行う。
- 助成金については、終了後に共催を踏まえて、検討して決める。

・収穫祭実行委員会、大塚さんから、目的・予算などの説明があった。

- ① メインの目的：ソーラーシェアリングを広めること。
地元の方と、都会から来た方々が交流できること。
- ② 予算：全体で150万円の予算(今までの1.5倍)。協賛金も協賛の各法人より出してもらう。経費は、場所が広がったので、増えた。

・村づくり基金からの拠出→承認。

拠出金額は、定額を決めるのではなく、最終的に収支を提出してもらい、不足分を共催の3社で調整する形としたい。

※意見 メモリアルホールから来ると、たい肥を入れてある場所があり、においがある。都会から来た人は、においが気になるのではないか。

ゴミも整理する必要がある。

→匂いは、市役所を通して、たい肥の所有者に対応を依頼する。

2 映画「SAVE the Reef-Act Now-」の上映への助成申請について→承認。

○別紙の内容で申請が出ています。

サンゴ礁の保全、環境問題の提起を目的とする。

上映は無料。会場使用料は無料だが、宣伝の経費はかかる。他の会場では、入場料を徴収している。匝瑳での上映は無料で行い、利益分は全額サンゴ礁保護のために寄付する。

- ・コミュニティーセンターの使用許可申請は、実行委員で行う予定。
- ・コミュニティーセンターの使用料無料については、申請者が地元で、区民が対象なら問題ないと思われる。

3 ゼロカーボン匝瑳推進協議会主催のセミナー&映画上映会について→承認

○取り組みの内容は別紙のとおり

○別紙のとおり、7万円の助成申請が出ています。

様々な地域の課題をどのように解決したのかという映画に。ゼロカーボン匝瑳を実現するために、映画を見ながらみんなで考えていきたい。

第一部、 倉坂先生。脱酸素、地域活性化の話。匝瑳市の概要の話。村づくり協議会の取り組み。

第二部、 映画の上映。参加費無料。映画放映料11万。+雑費で15万。すべてを協賛金で賄う。希望助成金額は7万円。

4 災害時非常電源の活用について説明&訓練の実施

*別紙参照

- ・訓練実施：11時～12時 協議会出席者および匝瑳市役所総務課より長谷川氏も参加。
- ・訓練日当：無償→有償化（1,000円/回）
- ・訓練の定例化：毎年行い、訓練を重ねて、非常時に対応できる人材を蓄積していく。
- ・名簿作成：訓練に参加した人の名簿を作成する。
ソーラー発電設備は20か所程度あるので、十数人のメンバーが欲しい。
ゆくゆくは、担当を決め、担当者が点検するような体制が望ましい。
- ・発電について：フル稼働で50キロワットの発電が可能。
雨天でも15%程度の発電能力はある。
EV車の充電も可能（100ボルト用を使用）。炊飯器も使用可能。

5 その他

① 基金の使い方→継続審議。具体例が出たら検討する。情報収集。

- ・地域または、匝瑳市全体のサークル団体や少年団体への拠出はどうか？
以前は、ミニバスケット、少年野球の遠征費用としてマイクロバスの費用を補助していたが、最近では地域のチームがなくなった。他地域と混合で活動しているチームもある。混合チームにも支援をするか？
- ・手芸サークルがある。また、活動は止まっているが、体育館の使用許可を持っている団体もあるようだ。うまく活動につなげられないか？
- ・グラウンドゴルフへの拠出は、台風で壊れたときに芝刈り機の購入補助を行った。

② 次回協議会 12月～1月 別途通知

以上